

10月10日“目の愛護デー” 緑内障啓発イベント

“ピーコさん”が語る
「目の健康の大切さ-早期発見できる緑内障」

～ 視野チェック無料体験会も同時開催 ～

10月9日(木) 東京メトロ銀座駅「銀座のオアシス」

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、2008年10月9日(木)、東京メトロ日比谷線 銀座駅「銀座のオアシス」にて一般の方を対象に、ファッション評論家またタレントとしてご活躍のピーコさんをお招きして緑内障啓発イベントを開催いたします。

本イベントは、10月10日の“目の愛護デー”にちなみ、目の健康の大切さを訴えると同時に、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につなげることを目的としています。

ピーコさんは片目を悪性黒色腫で失われたご自身の経験から「目の健康の大切さ」「早期発見の大切さ」を訴え、この度、緑内障フレンド・ネットワークの活動へ多大なご理解、ご賛同をいただき、啓発イベントの開催にご協力いただける運びとなりました。

当日は、ピーコさんによる「片目を失って見えてきたもの-目の健康の大切さ(仮)」についての講演後、緑内障フレンド・ネットワーク代表顧問 北澤克明先生(岐阜大学名誉教授、日本緑内障学会前理事長)との対談を予定しています。また、ご来場者には同会場にて簡易視野チェックもご体験いただけます。

記

日 時:2008年10月9日(木) 11:30～16:00
会 場:東京メトロ日比谷線 銀座駅「銀座のオアシス」
プログラム:【講演】12:20～12:40「片目を失って見えてきたもの-目の健康の大切さ(仮)」
【対 談】12:40～13:00「目の健康の大切さ-早期発見できる緑内障(仮)」
【体験会】11:30～16:00 簡易視野チェック体験 講演・対談中は中断
出席者:<ゲスト> ピーコ氏
緑内障フレンド・ネットワーク代表顧問 北澤 克明先生
(岐阜大学名誉教授、日本緑内障学会前理事長)
参加費:無料
お申込み:不要。但し当日、講演・対談イベント観覧用整理券を
11:30より配布いたします。
主催:緑内障フレンド・ネットワーク
協力:ファイザー株式会社



< イベント・取材に関するお問い合わせ >

株式会社トークス 担当:古家/養祖

TEL:03-3261-7715

FAX:03-3261-7174

< 当組織に関するお問い合わせ >

緑内障フレンド・ネットワーク事務局 担当:野田

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971



ピーコ(Peeco)氏 プロフィール

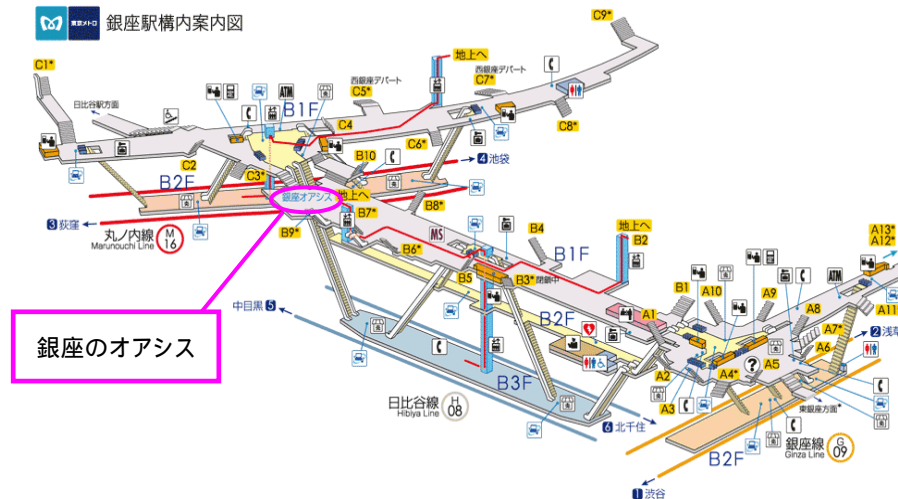
本名・杉浦克昭。1945年1月18日生まれ。横浜市出身。タレント、ファッション評論家。昭和53年TBS「久米宏の土曜ワイド・ラジオ TOKYO」にて「おすぎとピーコの週末情報」を担当。以後、ラジオ・テレビへの出演、講演など多岐にわたり活動。ファッション・ジャーナリストとして服飾評論はもとより、「ピーコのシャンソン&トーク」の会も定期的開催しており、2004年1月にはシャンソン歌手としてCDデビューを果たし、活動の場を広げている。レギュラー番組にフジテレビ「とくダネ!」(毎週月曜日)、「笑っていいとも!」(毎週金曜日)ほか多数出演。著書に「片目を失って見えてきたもの」(サンマーク出版)、「ピーコ伝」(日経BP社)などがある。

会場のご案内

東京メトロ日比谷線 銀座駅「銀座のオアシス」

< 数寄屋橋交差点下、ソニービル地下1F ソニープラザ向かい >

< 最寄り出口：B10 (不二家、リーガル・シューズ前の出口)、B9 (ソニービル) >



緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位と言われています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプが緑内障全体の約7割を占めていると言われています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の啓発を主に活動する患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。